

2 日本の心を次世代に継承するために

～「古典の日」の制定と文化庁分室の設置～

(文部科学省・文化庁)

日本の心は、1200年を超える歴史の中で培われた現代の京都のまち及び日々の暮らしの中に脈々と息づいています。地域社会に活力を与え、国際社会における日本の理解を一層促進していくためには、日本人自身が日本の心を再認識し、体現させていくことが重要です。

しかしながら、日本の心を伝える古典離れが進んでおり、若い世代から古典文学に親しむ気運の醸成が求められます。

京都市では、京都府、京都商工会議所などと共に展開した源氏物語千年紀事業の成果とも言える古典再評価の気運を生かし、平成20年11月には「古典の日」宣言を行い、本年4月には古典の日推進委員会を創設するなど、古典を通じて伝統文化に親しみ、日本の心を伝える取組が進んでいます。

日本の心を次世代に継承していくためには、世界に誇れる古典を再認識する気運が芽生え、こうした歴史的・文化的資源が集積する、京都を拠点として、国の総合的な文化政策が展開されることが必要です。

つきましては、次のとおり提案します。

提案事項

- 1 日本の伝統文化に親しみ、日本の心を伝える古典の振興を図るため、
 - (1) 「古典文化振興法（仮称）」の制定
 - (2) 制定する法律に基づき、古典を現代に生かし親しむ日として11月1日（「源氏物語」の存在が記録上確認できる最も古い日付）を「古典の日」に制定
 - (3) 古典関連の視聴覚教材や学校図書の充実、能や狂言など古典芸能鑑賞の機会拡充等、教育環境整備への支援
- 2 京都に集積している歴史的・文化的資源を生かしたソフト、ハード両面での文化政策の展開のための文化庁分室の設置

主な要望先：文部科学省（初等中等教育局財務課）
文化庁（文化庁長官官房政策課）

京都市の担当課：総合企画局 政策企画室 京都創生課長 柴崎孝之 TEL 075-222-3375
教育委員会事務局 指導部 学校指導課担当課長 三宅慎一 TEL 075-222-3824

現状・京都市の取組

平成 20 年 11 月

「古典の日」宣言～千年紀記念式典



- 源氏千年紀経済効果
1,087億円
- 関連催事(主催・後援等)
参加者 430万人
- 新聞関連記事
2,380本
- 特徴
持続的・全国的な拡がり
* 千年紀委員会発表
(平成 19・20 年度計)

歴史的・文化的資源の集積



二条城

平成 21 年 4 月

古典の日推進委員会創設

古典の日推進委員会

- 呼びかけ人 千 玄室氏 (茶道裏千家前家元)
梅原 猛氏 (哲学者)
瀬戸内 寂聴氏 (作家)
芳賀 徹氏 (京都造形芸術大学名誉学長) など
- 会長 村田 純一 (財)京都文化交流
コンベンションビューロー理事長
- 副会長 山田 啓二 京都府知事
" 門川 大作 京都市長
" 久保田 勇 宇治市長
" 立石 義雄 京都商工会議所会頭



新能

「関西元気文化圏」推進・連携支援室

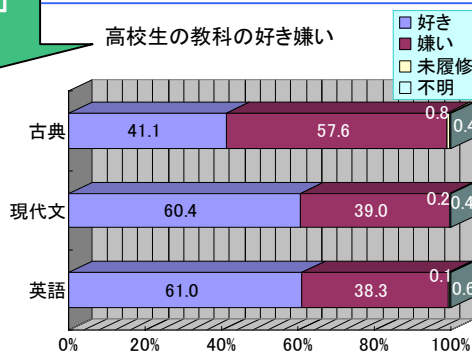
設置 平成 19 年 1 月〔当面 5 年間〕
場所 京都国立博物館内

課題

「古典の日」
制定

若い世代の古典離れ
世界に誇れる古典の
再認識
古典文学や伝統文化
に親しむ気運の醸成

高校生の教科の好き嫌い



〔出典〕進路選択に関する振り返り調査
～平成 17 年経済産業省委託調査

文化庁分室
の京都設置

歴史的・文化的資源
を生かした
ソフト、ハード両面
での文化政策展開

古典文学や伝統文化を通じた世界貢献

提案事項

「古典文化振興法（仮称）」の制定

「古典の日」〔11月1日〕の制定
教育環境整備への支援

文化庁分室の設置

日本の文化戦略を京都から

「古典の日」宣言 抜粋 源氏物語千年紀委員会

揺れ動く世界のうちにあるからこそ
私たちは いま古典を学び これをしっかりと
心に抱き これを私たちのよりどころとして
世界の人々とさらに深く心を通わせよう

日本の心の次世代への継承